

1 基本的事項						
(1) 価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4) 鑑定評価日	令和 7 年 7 月 3 日	(6) 路線価	[ 令和 7 年1月]	265,000 円 / ㎡
(2) 実地調査日	令和 7 年 6 月 27 日	(5) 価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3) 鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

(1) 基準地	所在地及び地番並びに「住居表示」等		葛飾区奥戸二丁目 1 2 3 1 番 5 「奥戸 2 - 2 8 - 7」				地積 (㎡)		102 ( )		法令上の規制等			
	形状	敷地の利用の現況		周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況		供給処理施設状況		主要な交通施設との接近の状況		準工 (60,200) 準防 高度(2種) (その他) 特別用途地区 (70,200)		
	1:2	住宅 W 2		一般住宅の中にアパート等が見られる住宅地域		北6 m 区道		水道、 ガス、 下水		京成立石1.2 km				
(2) 近隣地域	範囲		東 50 m、西 30 m、南 20 m、北 30 m		標準的使用		低層住宅地							
	標準的画地の形状等		間口 約 7 m、奥行 約 14 m、規模		100 ㎡程度、形状 長方形									
	地域的特性		特記 特にない		街 基準方位北 6 m区道		交通 京成立石駅南東方1.2 km		法令 準工 (70,200) 準防 高度(2種) 特別用途地区					
	地域要因の将来予測		近隣地域の土地利用状況が大きく変化することではなく、現況利用が均衡したまま推移していくものと思われる。市場動向から判断すると、良質の物件で、かつ総額との関連によっては、潜在需要は多いものと思料される。											
(3) 最も有効使用の判定		低層住宅地						(4) 対象基準地の個別的要因		方位		0.0		
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法		比準価格 345,000 円 / ㎡										
		収益還元法		収益価格 240,000 円 / ㎡										
		原価法		積算価格 / 円 / ㎡										
		開発法		開発法による価格 / 円 / ㎡										
(6) 市場の特性		同一需給圏は、京成押上線京成立石駅を中心に、江戸川区内、葛飾区内のＪＲ総武線沿線、京成本線沿線の住宅地域と判断される。最寄駅から徒歩 1 5 分程度の住宅地域に所在し、需要者は葛飾区内に地縁の選好性を有する個人及び建売業者等が主になる。土地価格は、景気を持ち直しが維持される中、上昇傾向にある。更地より建付地としての取引が多く見られ、取引価格は新築建売住宅で 4 , 5 0 0 万円から 5 , 5 0 0 万円程度の物件が需要の中心となる。												
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		当該地域は、一般住宅のほかアパート等が見られる住宅地域である。自己使用目的での不動産取引が主体となり、地域の賃貸市場においては、土地価格に見合う賃料水準が形成されていないため、収益価格は低位に試算された。また、収益性よりも居住の快適性が重視される地域といえる。したがって、市場性を反映した取引事例から求められた比準価格を重視し、収益価格を比較考量して、さらに指定基準地等との検討を踏まえて鑑定評価額を上記の通り決定した。												
(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	代表標準地 標準地		時点 修正		標準化 補正		地域要 因の比 較		個別的 要因の 比較		対象基準地 の規準価格 (円 / ㎡)		内 街路 0.0 地 街路 0.0	
	標準地番号 葛飾 - 28										内 準 交通 0.0 域 交通 +7.0			
	公示価格 366,000 円 / ㎡		[102.2] 100		100 [102.0]		100 [109.1]		100 [100.0] 336,000		内 化 環境 0.0 要 環境 +2.0			
											補 画地 +2.0 因 行政 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0			
(9) 指か 定ら 基の 準換 地討	指定基準地番号		時点 修正		標準化 補正		地域要 因の比 較		個別的 要因の 比較		対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)		内 街路 0.0 地 街路 0.0	
	葛飾(都) - 9										内 準 交通 0.0 域 交通 +9.0			
	前年指定基準地の価格 446,000 円 / ㎡		[105.4] 100		100 [101.0]		100 [138.4]		100 [100.0] 336,000		内 化 環境 0.0 要 環境 +27.0			
											補 画地 +1.0 因 行政 0.0 正 行政 0.0 その他 0.0			
(10) 対年 象標 の基 準換 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 322,000 円 / ㎡				価 変 格 動 形 状 成 況 要 因 の		(一般的 要 因)		米国の通商政策等による不透明感も見られる中、国内景気は緩やかな回復傾向にある。葛飾区内の住宅地価格も上昇傾向を継続している。					
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討 代表標準地 標準地 標準地番号 - 公示価格 円 / ㎡						(地 域 要 因)		特記すべき変動要因は認められない。京成立石駅から徒歩 1 5 分程度の住宅地域に所在する。					
							(個別的 要 因)		個別的要因に変動はない。					
	変動率 年間 +4.3 % 半年間 %													